平成２７年度化学物質排出量・移動量の集計結果

１　排出量・移動量の届出状況

平成２７年度の排出量・移動量の届出を行った事業所数は、４８０事業所です。業種別届出状況については、以下のとおりです。

表１　業種別届出状況

業　種　名	届出数	業　種　名	届出数
金属鉱業	8	電気機械器具製造業	28
原油・天然ガス鉱業	8	輸送用機械器具製造業	5
製造業	103	精密機械器具製造業	3
衣服・その他の繊維製品製造業	1	医療用機械器具・医療用品製造業	2
木材・木製品製造業	2	電気業	3
家具・装備品製造業	1	下水道業	38
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	鉄道業	2
出版・印刷・同関連産業	1	倉庫業	3
化学工業	8	石油卸売業	11
医薬品製造業	2	燃料小売業	244
石油製品・石炭製品製造業	11	計量証明業	1
プラスチック製品製造業	3	一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る)	40
窯業・土石製品製造業	3	産業廃棄物処分業	13
鉄鋼業	5	医療業	1
非鉄金属製造業	9	高等教育機関	2
金属製品製造業	14	自然科学研究所	3
一般機械器具製造業	4	合　　計	480

（参考）届出事業者＝次の３つの要件全てに該当する事業者

① 対象業種（製造業、金属鉱業等２４業種）を営む事業者

② 常用雇用者数２１人以上の事業者

③ 第一種指定化学物質の年間取扱量が１トン以上の事業所等を有する事業者

表２　主な業種の事業所数の推移

業　　種	事業所数		
	25 年度	26 年度	**27 年度**
燃料小売業	233	233	**244**
製造業	104	106	**103**
廃棄物処理業	55	54	**53**
下水道業	38	38	**38**
その他の業種	33	36	**42**
合　　計	463	467	**480**

2　排出量・移動量の集計結果

（1）届出排出量・届出移動量合計

秋田県に届出された排出量・移動量の合計は、４，５９３トンであり、その内訳は排出量３，３０８トン、移動量１，２８５トンです。

排出先・移動先の内訳をみると、事業所外への移動量が１，２８５トン、事業所内での埋立処分量が２，７３８トンと全体の約９割を占めています。

排出量・移動量の合計を前年度と比較すると３４２トン減少しており、事業所外への移動量が減少したことが主な要因となっています。

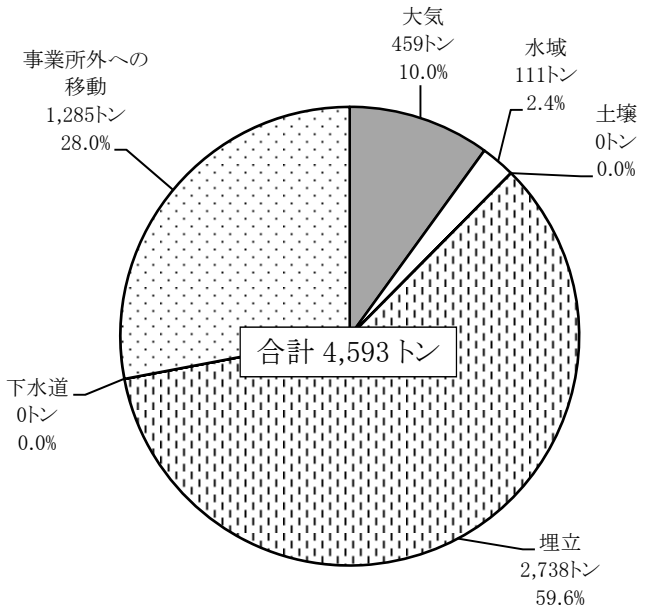

図１　排出量・移動量合計

表３　届出排出量・移動量の内訳

区　分		25年度 (トン/年)	26年度 (トン/年)	**27年度 (トン/年)**	**構成比(%)**
排出量	大気への排出	447	467	**459**	**10.0**
	公共用水域への排出	105	91	**111**	**2.4**
	土壌への排出	0	0	**0**	**0.0**
	事業所内での埋立処分	2,550	2,742	**2,738**	**59.6**
	小　計	3,102	3,300	**3,308**	**72.0**
移動量	事業所外への移動	1,899	1,635	**1,285**	**28.0**
	下水道への移動	0	0	**0**	**0.0**
	小　計	1,899	1,635	**1,285**	**28.0**
合　計		5,001	4,935	**4,593**	**100.0**

※１　１トン未満四捨五入により、土壌への排出量及び下水道への移動量が０トン/年（構成比 0%）となっています。

※２　本文中の図表合計値は、端数処理の関係で各項目の和とは一致しない場合があります。（以下、同様）

（2）届出排出量・届出移動量物質別内訳

排出量・移動量合計における上位５物質については、以下のとおりです。

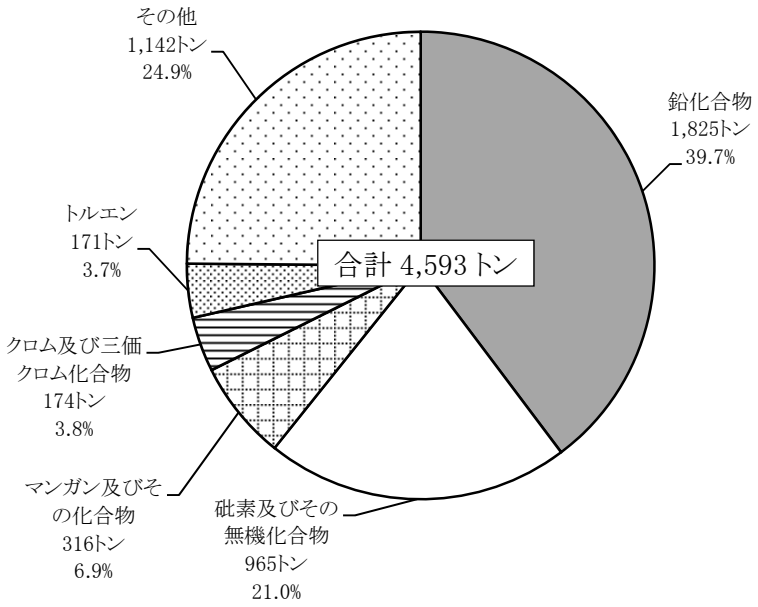

図２　排出量・移動量合計上位５物質

（2）－1　大気への排出量

大気への排出量の合計は、４５９トンであり、全体の１０．０%にあたります。大気へ排出された上位５物質は以下のとおりです。

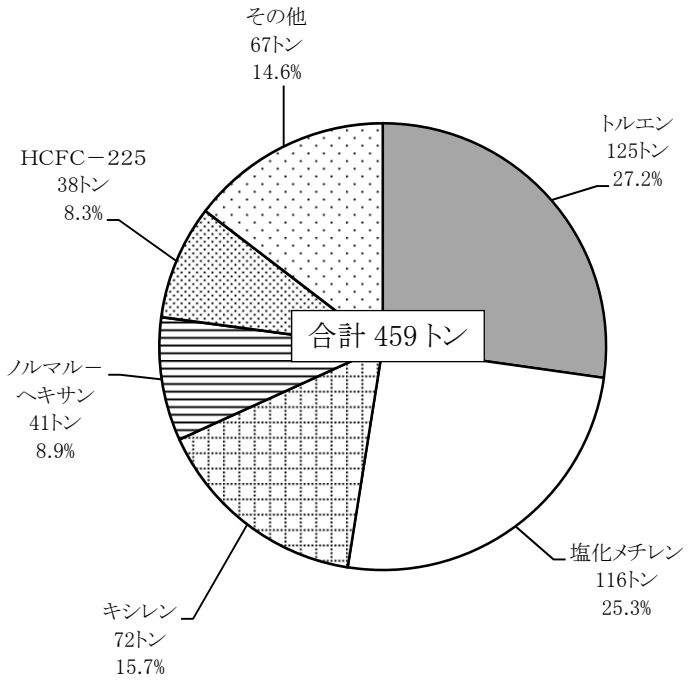

図３　大気への排出量上位５物質

（2）－2　水域への排出量

公共用水域への排出量は１１１トンであり、全体の２．４％にあたります。公共用水域へ排出された上位５物質は以下のとおりです。

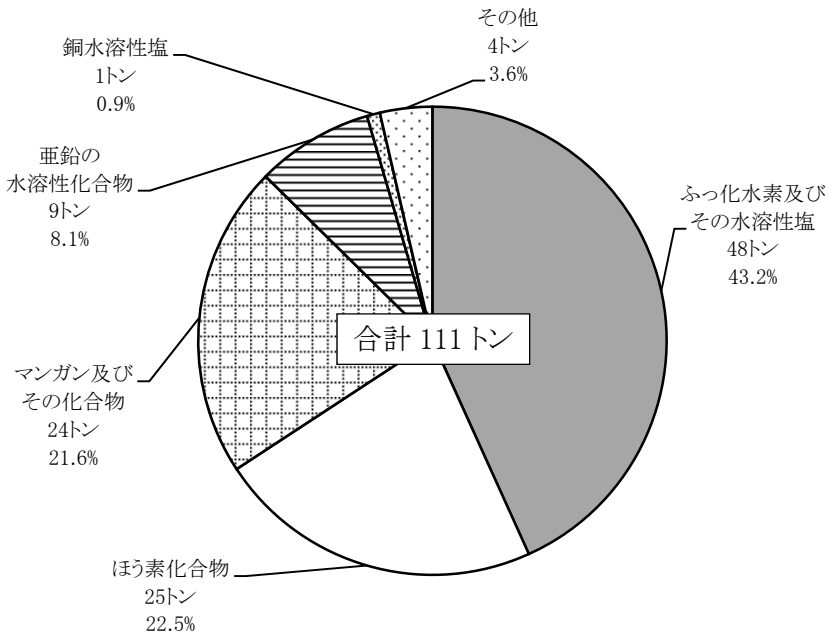

図４　公共用水域への排出量上位５物質

（2）－3　事業所内への埋立処分量

事業所内への埋立処分量は、２，７３８トンであり、全体の５９．６％にあたります。事業所内へ埋立処分された上位５物質については以下のとおりです。

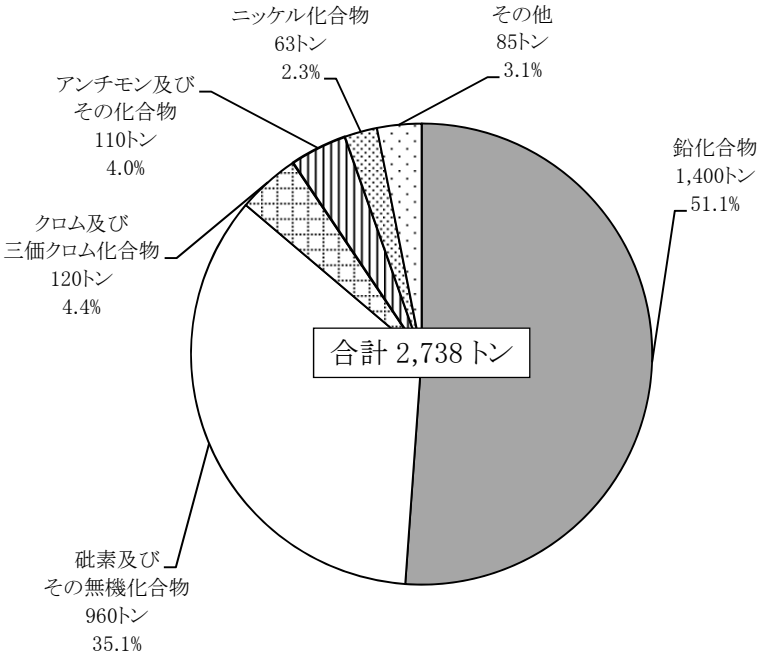

図５　事業所内への埋立処分量上位５物質

（2）－4　届出排出量合計

排出量の合計は、３，３０８トンであり、全体の７２．０％にあたります。届出排出量合計の上位５物質については以下のとおりです。

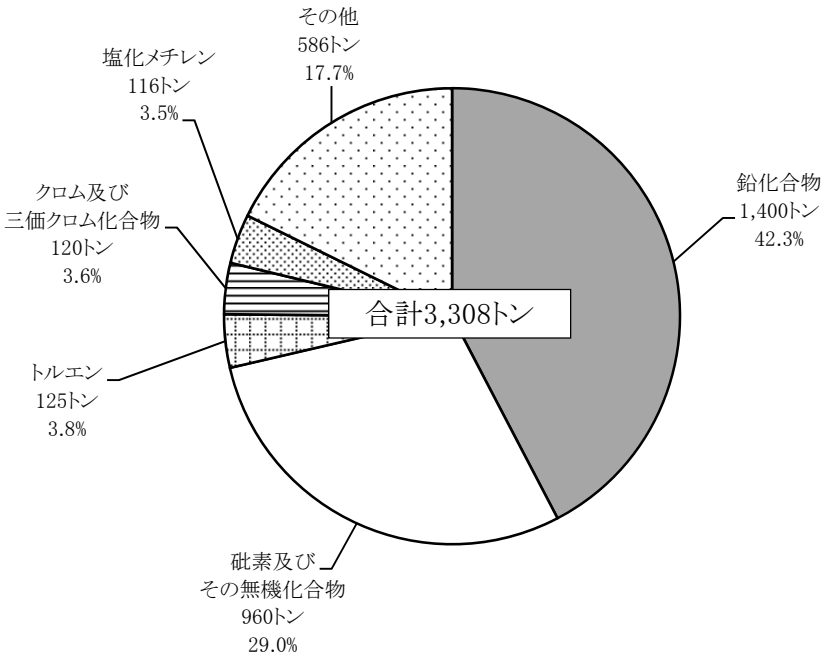

図６　届出排出量合計上位５物質

（2）－5　事業所外への移動量

事業所外への移動量は、１，２８５トンであり、全体の２８．０％にあたります。事業所外へ移動した上位５物質は以下のとおりです。

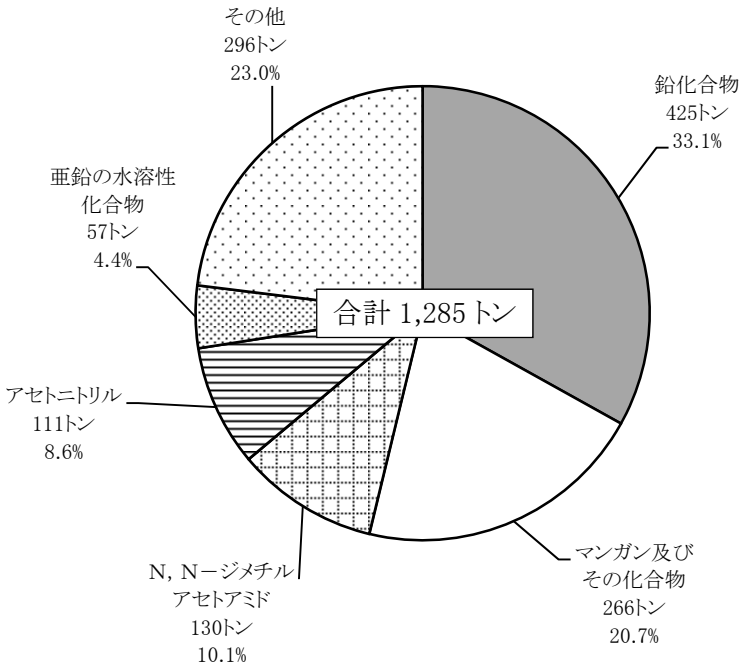

図７　事業所外への移動量上位５物質

（2）－6　届出移動量合計

届出移動量合計は、１，２８５トンであり、全体の２８．０％にあたります。届出移動量合計の上位５物質は以下のとおりです。

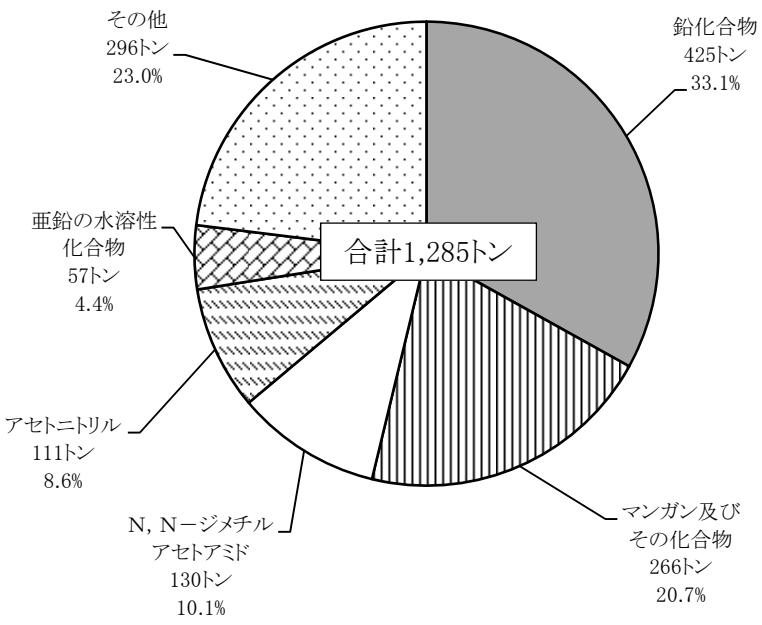

図８　届出移動量上位５物質

３　届出外排出量集計結果

環境省及び経済産業省では、届出対象事業者から届出があった排出量以外の対象化学物質の環境への排出量について、各種データ等から推計しております。環境省及び経済産業省が推計した届出外排出量のうち、秋田県分は２，４４８トンでした。

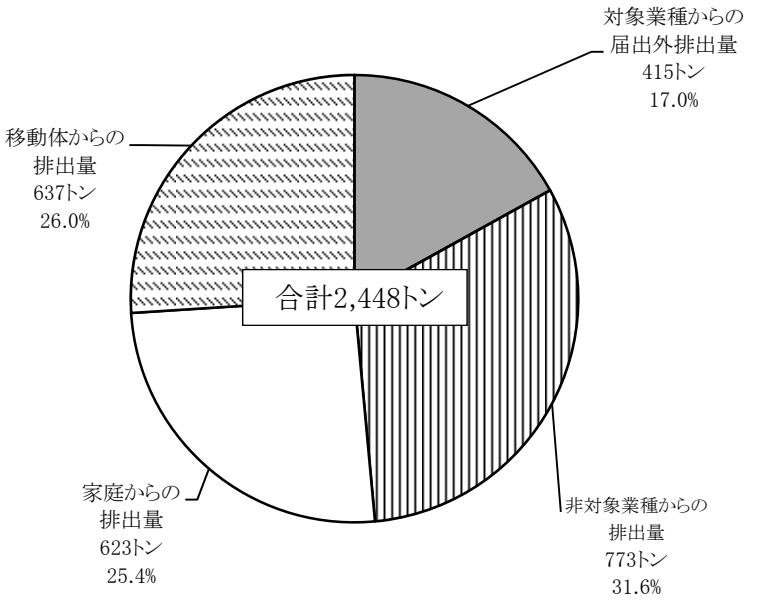

図９　届出外排出量内訳

表４　届出外排出量の内訳

区　　分	25 年度 (トン/年)	26 年度 (トン/年)	**27 年度** **(トン/年)**	**構成比(%)**
対象業種からの届出外排出量　(※1)	396	452	**415**	**17.0**
非対象業種からの排出量　(※2)	834	871	**773**	**31.6**
家庭からの排出量　(※3)	687	621	**623**	**25.4**
移動体からの排出量　(※4)	770	692	**637**	**26.0**
合　　計	2,687	2,636	**2,448**	**100.0**

※１　対象業種に属する事業を営むが、従業員数、年間取扱量その他の要件を満たさないため、届出対象とならない事業者からの排出量（従業員２１人未満、年間取扱量１トン未満）

※２　対象業種以外の業種に属する事業を営む事業者からの排出量（農業、林業、ゴルフ場等、建物サービス、建設業等、飲食業等、漁業等、汎用エンジン、その他）

※３　農薬、殺虫剤、接着剤、塗料、洗浄剤、防虫剤・消臭剤、たばこの煙、化粧品、その他からの排出量

※４　自動車、二輪車、特殊自動車、船舶、鉄道車両、航空機からの排出量

４　届出排出量と届出外排出量の合計

秋田県内の届出排出量及び届出外排出量の合計は、５，７５６トンであり、その内訳は届出排出量（集計値）が３，３０８トン、届出外排出量（推計値）が２，４４８トンでした。排出された上位５物質については、以下のとおりです。

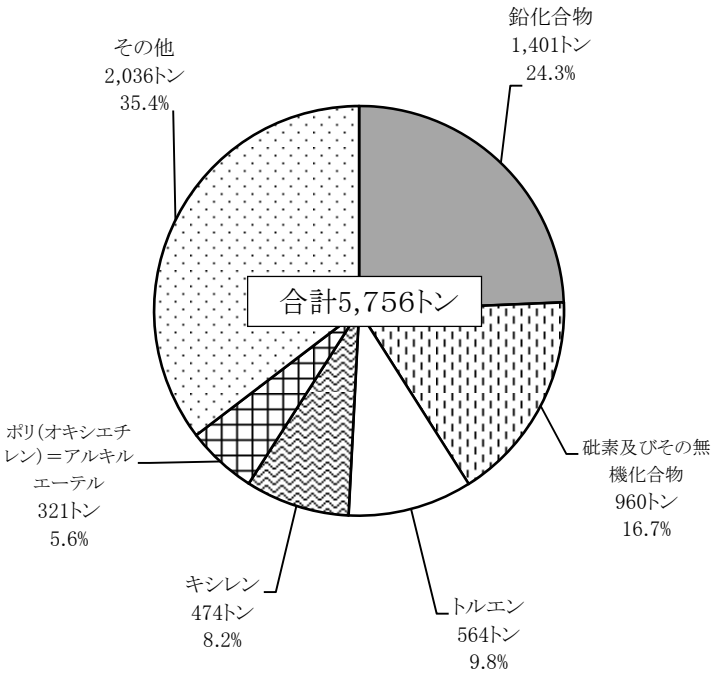

図１０　届出排出量及び届出外排出量合計上位５物質

表５　届出排出量と届出外排出量の合計

区　　分	25 年度 (トン/年)	26 年度 (トン/年)	**27 年度 (トン/年)**	**構成比(%)**
届出排出量(集計値)	3,102	3,300	**3,308**	**57.5**
届出外排出量(推計値)	2,687	2,636	**2,448**	**42.5**
合　　計	5,789	5, 369	**5,756**	**100.0**